



資料3 綾瀬市防災フェアについて

◆ 概要

市民の防災意識の向上を図り、災害時の自助・共助の力を養うために、綾瀬市防災フェアを開催します。

今年、「関東大震災から100年。災害を知り、災害に備える。」をテーマに、東日本大震災の語り部による講演や防災VRを含む防災資機材等の展示を実施します。

◆ 目的

東日本大震災の語り部による講演や防災VRを含む防災資機材等の展示を通じ、市民の防災意識の向上を図り、自助・共助の力を養うことで、大規模災害時の被害の軽減、迅速な復旧・復興を果たすことを目的とします。

◆ 開催概要

日時 令和6年1月20日(土) 13:00~16:00

場所 綾瀬市オーエンス文化会館(綾瀬市深谷中1丁目3-1)

定員 1,350名(大ホール) 270名(小ホール)

共催 綾瀬市自治会長連絡協議会、綾瀬市

◆ 内容

(1) 語り部による講演(大ホール 13:30~15:00)

山田 修生(やまだ のぶを)氏

(宮城県防災指導員講習会講師、総務省消防庁防災アドバイザー等を歴任され、現在は「災害伝承語り部」として活動中)

- ① 自然災害の怖さ(東日本大震災の実体験)
- ② 自助の視点で、「普段からやっておけば良かったこと。備えておけば良かったこと」
- ③ 共助の視点で、「公助も大事だが、ご近所や自治会の助け合いが大切だと思った経験」、「避難所生活で大切だったこと」

(2) 防災資機材の展示(小ホール及びホワイエ 13:00~16:00)

避難所で使用するテントやマンホールトイレ、備蓄食料(家庭での備蓄例)等の展示。防災VRによる、地震や水害の疑似体験。

◆ その他

手話通訳、要約筆記を実施します。

